



TWEET

「断ったもん勝ち？」

3歳の長女の幼稚園で初めての運動会まで1ヵ月となったある日、妻に園からのお知らせを見せられた。「運動会当日のお手伝いのおねがい」男性保護者に運動会で使う大道具を準備したりテントを立てたりするのを手伝って欲しいという内容だった。初めての娘の運動会、娘の出番は最前列で場所取りして、カメラもビデオも撮るつもり満々だったので、手伝いをする事で娘の出番が見られないのはイヤだ、と断るつもりだった。でも設営と撤収くらいなら手伝えるかも。「娘の出番が見られるならば、可能な範囲で手伝うことは出来ます。」と返信してもらった。

運動会まで1週間となった日、園から運動会当日のお手伝いの正式な依頼が来た。うわ。やっぱり当たってしまった。集合時間を確認。場所取りは出来そう。

運動会当日、朝早くに場所取りをして最前列を確保。その後、テントの設営をしたり万国旗をかけたり大道具を出しやすい位置に置いたり、園の先生たちの指示のもと設営を行った。みんな慣れていて、みるみるうちに運動場が華やかになっていく。娘の出番は午前が多かったが、自分の担当は午後になってくれていて、しっかりとみることができた。午後になっていよいよ手伝いの時間、汗だくになりながら慣れない手つきで白線を引いたり消したり、大道具を運んだり片付けたり。娘も父親が働いているのを見て「あ、お父さんだ。がんばってー！」と応援してくれる。なんか悪くないかも。家に帰って運動会の感想を娘に聞いている中でも、「お父さん、お掃除（白線をホウキで消す仕事）がんばってたねー。」と言ってくれた。ちゃんと今日の思い出に残ってるんだ。

保護者会の会長が、設営の最初の挨拶でこう言った。「子どもさんの出番が見られないと不安な方もおられるかもしれませんが、でも逆に考えると一番近くで子どもの成長を見守れる特等席ですよ。」本当にその通りだと思った。

PTAや園の保護者会の役員などは「断ったもん勝ち」だと思っていた。誰かがしなくてはいけないけど、自分はイヤだと。でも今回少しだけだが携わってみて、園の先生との距離も縮まり、子どもとも色々な話げできた。こういう喜びがあることを初めて知った。これからは少し積極的になれるかもしれない。

スマホ大好き

このコーナーはぐるんぱママの「つぶやき」を随時掲載します。お楽しみに！投稿も大歓迎です！